
空

燕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空

【コード】

N1801P

【作者名】

燕

【あらすじ】

何となく、大人と子供の間で自分が、ボケくとしながら思った、
どうでもいいこと。

正直読まれるのは恥ずかしい。

小さい子供のころは、何も考えずに生きていた。

いつも新しい朝がくるのが当たり前に思っていた。

満足するまで遊んで、満足するまで笑った。

勉強なんて二の次だった。

友達が居るのが当たり前だった。友達と遊べるのも当たり前。

将来なんて、遠い未来のことで、自分には関係の無いものだと思っ
てた。

少し大きくなって、未来に近づいた。

未来はテレビや漫画みたいに、素敵なものじゃなかった。

新しい朝が来るのは当たり前だった。

満足するまで遊べなくなった。満足するまで、笑えなくなった。

勉強は二の次じゃなくなった。

友達が居るのは当たり前だった。でも、遊べるのは当たり前ではなくなった。

なんで、俺は生きているのかな？

不思議に思った。

普通に生きているだけで、特別でもなんでもないので。

人はそれぞれ違うけど、ただ違うだけなのに。

俺はなんで生きているのかな？

笑われそうな問いが自然と浮かんだ。

どうせ答えなんてでないんだろうな。

なんとなく諦めた。

テレビとか漫画とか、そんな所で訴えられる答えは、酷く陳腐に思えた。

自分で見つけるものだと言われても、見つけられる自信はなかった。

死にたくはないな。

なんだか情けなくなる言葉だった。

人生はつまらないけど、死ぬのは怖かった。

勝手だな自分。どうせそんなもんだ。

空を見るのが好きだ。

見上げる空は、俺が成長しても少しも変わらない。

少し羨ましかった。俺も変わらないままで居たかった。

生物でもない空が羨ましかった。

これからも変わってゆくことが変わらないんだな。

唐突に、諦めたような言葉が浮かんだ。

これからも、俺は緩やかに変わって行って、そのうち死ぬ。

過去の人がそうであったように。

現在の俺がそうであるように。

きっと未来に生きる人もそうなんだろう。

これは諦めなんだろうか？ だったらなんだって言っただ。

空を見るのが好きだ。

人生なんてつまらない。俺はちっぽけだ。

だからなんだ、それがどうした。

憂鬱だった。今も憂鬱だ。きっとこれからも憂鬱なんだろう。

空は変わらないんだろうなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1801p/>

空

2010年11月28日02時16分発行